

令和7年度 「さんかくカレッジ」専門コース 受講者募集のご案内

テーマ

安心して暮らせる社会の実現

～男女共同参画の視点から、

安心・安全について考える～

子育てや
日々の生活

さまざまな
暴力

予測不能な
災害

日々の
健康や
老い

ストレス

不安

孤独

人はだれでも 人として大切にされ、
穏やかに暮らせる毎日を望んでいます



講座期間

令和7年9月6日(土)～令和7年11月29日(土)

全7回の連続講座です。ご希望の講座を選んで受講できます。

*各回の詳しい内容については、次ページ以降をご覧ください。

受講料

無料

応募資格

内容に関心のある方。

募集定員

30名程度

申込方法

受講申込書に必要事項を記入し、
郵送、FAX、E-mail、持参もしくは、
左の「受講申し込み二次元コード」から
「さんかく岡山」へお申し込みください。



受講申込二次元コード



安心して暮らせる社会の実現

～男女共同参画の視点から安心・安全について考える～

講座を通して、

「男女共同参画の視点からみた安心・安全な暮らしを実現するための課題を知り、それに対しての考えを受講者自身がもつとともに、安心・安全な暮らしを実現するための方策を考えることで、家庭や地域等での啓発に寄与することができるようにする。」ことを目的としています。

全7回

受講料無料

1 開講式・オリエンテーション、 男女共同参画をつくる～性別にかかわらず誰もが活躍できる社会のために～

日時 第1回 9月6日(土) 13時30分～15時30分

講師 NPO法人SEAN 理事長 小川 真知子さん

国際女性年から50年、男女共同参画の取り組みはどこまで進んでいるのでしょうか。また最近話題のアンコンシャスバイアスはジェンダー平等の実現にどう関係しているのでしょうか。データをもとに日本の現状を知り、一緒に考えましょう。



2 地域で支えるこども家庭の未来 ～ひとり親家庭支援・こども食堂の実践から考える～

日時 第2回 9月27日(土) 10時～12時

講師 一般社団法人
岡山市ひとり親家庭福祉会
会長 景山 敦子さん

こども食堂 東山つながりキッチン
代表 原 明子さん

ひとり親になり二人の子どもを育てる中でたくさんの出会いに助けられ今があります。「さえざりカフェ」での活動を通して感じたことなど自身のこれまでを重ねながら当事者としての「想い」をお話してきたらと思っています。



約10年前、何も知らずに始めた「こども食堂」ですが、コロナ禍に多くの多様なご家庭に出会いました。今、毎回100人を超える参加者の皆さんに青息吐息の私は今後どうしたら良いか迷っているところです。皆さんと一緒に考えたいです。



3 DV(ドメスティック・バイオレンス)や性暴力・性犯罪のない社会を目指して

日時 第3回 10月11日(土) 10時～12時

講師 特定非営利活動法人 オカヤマビューティサミット 理事長 柚木 幸子さん

「暴力の連鎖を断ち切るための知識」を身につけ、誰もが尊厳を持って生きることのできる社会の実現を目指します。1人1人の意識が変わること、未来は変えることができます。共に学び支援の輪を広げてまいりましょう。データをもとに日本の現状を知り、一緒に考えましょう。



4 AMDA(アムダ)の緊急支援活動の現場から学ぶ課題と可能性 ～みんなで作る防災・減災～

日時 第4回 10月25日(土) 10時～12時

講師 特定非営利活動法人 アムダ(AMDA) 副理事長 難波 妙さん

アムダ(AMDA)の活動を通して、様々な災害支援現場を経験してきました。被災地の避難所での実状を紹介しながら、非常時には何が求められるのか、そして、日常からどう備えるのかを考えるきっかけになればと思っています。



5 安心できる地域のつながりをつくる ～さまざまな地域活動のかたち～



日 時 第5回 11月1日(土) 10時から12時

講 師 藤田地区民生委員児童委員
錦六区支合わせの会 事務局
大森 康代 さん



私たちの活動は、町内会とも連携しており、良好な関係を築けています。私たちが目指すのは、誰もがいつまでも元気で安心して暮らせる、住みやすい地域づくりです。地域活動は大変なこともあります。それ以上に、仲間が増え、やりがいを感じるなど、人生を豊かにしてくれると実感しています。

浅口市社会福祉協議会 市民後見人
中桐 和子 さん



市民後見人の仲間との交流から社会とのつながりを実感し、利用者の方に頼りにされることが大きなやりがいです。利用者への対応に悩むこともありますが、自分を成長させる貴重な学びとなっています。自分にできることがあればと思い、一歩踏み出すと世界が広がり、新たな発見や出会いがあることを実感しています。

6&7 学びの振り返り1～2・閉講式

日 時 第6回 11月15日(土) 10時～12時
第7回 11月29日(土) 10時～12時

講 師 ノートルダム清心女子大学 人間生活学部人間生活学科 准教授 濱崎 絵梨 さん

概 要

- ・安心して暮らせる社会の実現に向けて、受講者自身の考えをまとめる
- ・意見発表会・グループ討議・指導講評

安心して暮らせる？



私たちに何が
できるかな？



性別にかかわらず多様な個性が尊重され、誰もが自分らしく輝ける社会の実現に向けて、私たちにできるアクションを共に考え実りある時間にしていきましょう。



♣ 濱崎先生には、
第2回及び第5回のコーディネーターもお願いしております。♣

令和7年度岡山市男女共同参画大学「さんかくカレッジ」専門コース 受講申込書

ふりがな			年代(該当に○印)
お名前			10代・20代・30代・40代 50代・60代・70代・80代以上
住 所	〒 -		
連絡先	電話 () - -	FAX () - -	
	e-mail @		※お持ちの方は必ずご記入ください。
受講予定	☐ 第1回(9/6) ☐ 第2回(9/27) ☐ 第3回(10/11) ☐ 第4回(10/25) ☐ 第5回(11/1) ☐ 第6回(11/15) ☐ 第7回(11/29) ※□にレ印にてチェックをお願いします。		
受講経験	これまで岡山市男女共同参画大学さんかくカレッジの下記いづれかを受講したことがある。 ・基礎コース ・専門コース(前期) ・専門コース(後期) ※該当するものを○で囲んでください。		

*この申込書から取得した個人情報は、「さんかく岡山」主催事業の運営に関する目的以外には利用いたしません。

講師のご紹介

～皆様の参加お待ちしております～

●第1回 小川真知子(おがわ・まちこ)さん

NPO法人SEAN 理事長

新潟県生まれ。高校講師を経て、1994年より兵庫県立女性センター(現男女共同参画センター)の情報アドバイザー、1999年～2013年まで西宮市男女共同参画センターの専門職員として勤務後、現在はNPO法人SEAN(シーン)理事長。大阪公立大学でジェンダー論を担当(非常勤講師)。

●第2回 原 明子(はら・めいこ)さん

こども食堂 東山つながりキッチン 代表

20～30代は(財)日本ユニセフ協会で学校向け広報活動。40～50代は岡山市役所でESD(持続可能な開発のための教育)推進に携わる。その間に子ども2人を育てる(子どもに育てられる)が「まだまだ卒業できていない。」との本人弁。
2016年より地元にて「こども食堂」を始め、現在に至る。2年ほど前から岡山市の日本語教室開設運営にも携わっている。

●第4回 難波 妙(なんば・たえ)さん

アムダ(AMDA) 副理事長

2003年よりアムダに勤務。
当初、広報室・アムダ・インターナショナル部門の連絡調整業務に従事し、代表部参事、理事を経て、2023年12月アムダ副理事長に就任。2004年のスマトラ沖大津波をはじめとして、昨年の能登半島地震まで国内外を問わず、緊急医療支援活動時の全体調整ならびに活動現場の統括を担当。
特に熊本地震では実家が全壊、居住地が西日本豪雨災害で被災。支援する側と支援される側を同時に経験。

●第5回 大森 康代(おおもり・やすよ)さん

藤田地区民生委員児童委員
錦六区支合わせの会 事務局

地域で困りごとを抱えている方の相談対応や見守り活動、地域の話し合いの場の運営などに携わる。
参加者もスタッフも高齢者同士であることから、企画から運営まで協力し合い、楽しみながら取り組んでいる。

●第2回 景山 敦子(かげやま・あつこ)さん

岡山市ひとり親家庭福祉会 会長

全国母子寡婦福祉団体協議会の加盟団体の岡山代表を務める。当会は昭和31年に戦争未亡人会として創設。令和4年8月にひとり親家庭の相談支援事業「さえずりカフェ」を受託運営中。時代が変わっても困難を抱えるひとり親に寄り添い「ひとりじゃないよ」と感じてもらえるような支援を目指して活動している。

●第3回 柚木 幸子(ゆのき・さちこ)さん

オカヤマビューティサミット 理事長

ヤングケアラーとして育ち、17歳で出産。DVを経験。その後、29歳でエステサロンを開業。美容を通じて女性の心身の悩みに寄り添う中、支援活動を開始。
「働くことは生きること」という信念の下、支援の本質は、「ひとりの笑顔」から始まり、それが地域や社会の幸福へつながる」という希望の連鎖を描く。
2012年に支援団体を設立し、2015年にNPO法人化。女性や子ども、若年層へのエンパワーメント支援を地域で展開中。

●第2・5・6・7回 濱崎 絵梨(はまさき・えり)さん

ノートルダム清心女子大学 人間生活学部人間生活学科 准教授

ノートルダム清心女子大学を卒業後、高齢者福祉施設(介護施設)に入職。生活相談員として施設の利用者や家族の相談に応じ、介護現場や各種制度との橋渡しの役割を担う。
社会人として大学院で学び直す機会を得て、今に至る。現在は、社会福祉士として、社会福祉やソーシャルワークの分野で研究と実践に取り組む。また、大学では、社会福祉士の養成に携わり、価値・知識・技術をバランスよく身につけることができる教育方法の工夫を重ねている。

●第5回 中桐 和子(なかぎり・かずこ)さん

浅口市社会福祉協議会 市民後見人

活動内容は、被後見人との面会、外出の付き添い、財産管理など。活動を始めたきっかけは、職場の先輩が退職後にボランティアで活躍している姿に刺激を受けたため。「自分も社会の役に立ちたい」との思いから活動を続けている。

※令和7年度「さんかくカレッジ専門コース」は、ノートルダム清心女子大学 人間生活学部人間生活学科 准教授 濱崎絵梨さんの監修のもと、企画運営しております。

申込・問い合わせ先

岡山市男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」
〒700-0822 岡山市北区表町三丁目14番1-201号
電話 086-803-3355
FAX 086-803-3344
E-mail sankaku@city.okayama.lg.jp

